

■■■トピックス■■■

★「九州ふっこう割熊本宿泊券」の販売を開始します

熊本県と（公社）熊本県観光連盟では7月20日（水）10時から熊本県内の宿泊施設で使用できる70%割引の宿泊券を観光予約サイト「VISIT熊本県」で販売します。

1 販売期間・利用期間

- ・販売期間 7月20日（水）～9月20日（火）
- ・利用期間 7月20日（水）～9月30日（金）宿泊分まで
※売切れ次第販売を終了します。

2 販売金額

- ・宿泊券1枚 5,000円 → 1,500円（割引率70%）

3 販売枚数 21万枚

4 購入可能枚数、利用可能枚数

- ・購入可能枚数 1人あたり6枚上限（額面30,000円 5,000円×6枚）
- ・利用可能枚数 1人あたり1泊5枚を上限（額面25,000円 5,000円×5枚）

5 販売方法

- ・「VISIT熊本県」によるネット販売
①「VISIT熊本県」TOPページ「購入はこちらへ」をクリック→②会員登録→
③必要枚数購入→④登録のメールアドレスに宿泊券番号が届く→⑤宿泊施設
へ連絡
※希望の宿泊施設に事前予約をしたうえで、宿泊券を購入するようお願いします。
- ・電話による購入（インターネット環境がない方向け）
※1件あたり900円の手数料が必要となります。
「VISIT熊本県」事務局 050-3775-4724
（受付時間：平日・土日祝日 10:00～18:30）

6 利用対象宿泊施設

- ・391施設 7月13日現在 ※詳細は「VISIT熊本県」に掲載

7 購入方法や利用方法に関する問い合わせ先

- ・「VISIT熊本県」事務局（株式会社 観光販売システムズ）050-3775-4724

お問い合わせ先

（局名）観光経済交流局（課名）観光課

（担当）西川、中野

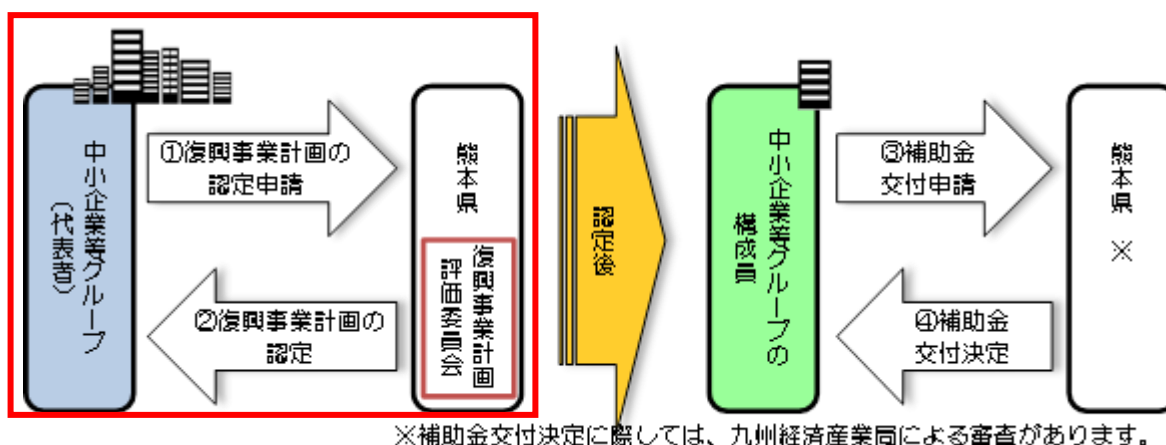
（TEL）096-333-2335（内線5206）

（E-mail）kankou@pref.kumamoto.lg.jp

★中小企業等グループの施設復旧等を支援します！

熊本県では、地域の経済・雇用の早期の回復を図るため、熊本地震で被災された中小企業等グループの復旧整備費用の3/4（または1/2）を国と県で補助します。現在、補助金の交付を受けるために必要となる「復興事業計画」の認定申請受付を開始しています。

【事業の流れ】



【公募期間】

公募開始：平成28年6月20日（月）

1次締切：平成28年7月22日（金） 午後5時15分必着

2次締切：平成28年8月26日（金） 午後5時15分必着

※応募の詳細については、熊本県ホームページをご覧ください。

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_16170.html

お問い合わせ先

熊本県グループ補助金受付センター

電話：096-237-6611

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前9時～午後5時

～ 熊本地震関連コラム ～



「三助方式を考える」

商工観光労働部長 おくそのふさゆき
奥園惣幸

江戸中期、熊本に細川重賢という名君がいます。ひっ迫した藩財政を再建したことで有名ですが、時習館という藩校を建設しようとした時、改革を指揮していた大奉行の堀平太左衛門は大反対しました。「藩士には給与カットまで強いている時に、どこにそんな金がありますか」というのが本音です。結局、農民や商人も受講できるようにして、資金を集めて、公助（藩）、互助（地域）、自助（自己負担）の三助方式で学校を作りました。

今回の震災で、この「三助方式」を思い出しました。グループ補助金制度では、なぜかグループを作って復興計画を作ることが前提になっています。もともと、「私有財産になるものに、血税は入れられない」というのが、国のスタンス。しかし、東日本大震災の状況は放置すれば地域経済は崩壊寸前。そこで、グループで復興計画を作れば、その復興計画の実現のために税金を投入する。というロジックを作った訳です。

熊本震災でもこの枠組みを採用してもらい、事業費ベースで800億円（国費 400 億円、県費 200 億円）が措置されました。これまでにない大きな金額で、計画認定から補助完了まで、当部の多くの職員が総出で取り組むこととなります。

補助金だから、金を返す必要はありません。しかし震災で可哀想だから、恵んでもらった金ではありません。地方経済の復興を付託されたものです。ですから決して卑屈になる必要はありません。しっかり前を向いて、熊本経済を復興するという大きな責務を地域（グループ）全体で果たして行きましょう。

今回の震災では、思わぬ人々と新しい関係が生まれました。道路、電気、水、ガスなど、普通の生活を送れる有り難さが身に沁みました。そして、自分ひとりで生きているのではない。ことを実感しました。自ら助ける、すなわち「自助」・ 近隣社会が互いに助け合う「互助」・ 公が手を貸す「公助」。このバランスの中で秩序や自覚が生まれます。

公がすべてを面倒見る発想自体、不遜な考え方だと思います。商工観光労働部の使命は、「地域に民間企業の活力を導入する」ことであり、公助や互助を使って、如何に「自助」を引き出すか。に他なりません。

[▲目次へもどる](#)

■■■お知らせ・募集■■■

●【熊本地震の影響を受けた事業所の皆さまへ】雇用維持のためのアドバイザーを派遣します

内 容

今回の地震を受け、休業手当などの一部を助成する「雇用調整助成金」など国の雇用関係制度において、さまざまな特例措置が行われています。

熊本県では、従業員の雇用を維持するために、雇用関係制度の利用をお考えの県内事業所へアドバイザー（社会保険労務士）を派遣し、各種制度の申請などを支援しています。派遣に係る費用は無料です。派遣期間は平成29年2月末日までですが、申込状況によっては早期に終了する場合があります。

申込方法など詳しくは、熊本県ホームページをご覧ください。

●熊本県ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_15833.html

※雇用調整助成金においては、地震以降に開始された休業などについて、7月20日までに初回の計画届を提出した場合、事前に計画届が提出されたものとみなされますので、該当する事業所は、期日までに計画届を提出する必要があります。

お問い合わせ先

（局名）商工労働局 （課名）労働雇用創生課

（担当）米岡、岩野

（TEL）096-333-2340

（E-mail）yoneoka-k-d@pref.kumamoto.lg.jp

[▲目次へもどる](#)

●被災企業の従業員の方々の出向等について支援します

熊本県と（公財）産業雇用安定センター（※）は、平成28年4月に発生した「熊本地震」の影響により、やむを得なく従業員の休職や解雇を検討されている企業や、人手不足感を持っている企業を訪問し、双方に人材情報を提供するとともにマッチングを行い、企業間の出向を無料で支援しています。

詳細については県HPを参照ください。

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_16012.html

(※) (公財) 産業雇用安定センターとは・・・

厚生労働省と経済・産業団体の協力により出向・移籍の専門機関として発足された公益財団法人です。

47都道府県に事務所を置き、全国ネットワークで企業の出向・移籍等の支援を行っています。

お問い合わせ先

(局名) 商工労働局 (課名) 労働雇用創生課

(担当) 中原・岩野

(TEL) 096-333-2340

(E-mail) roukosousei@pref.kumamoto.lg.jp

[▲目次へもどる](#)

●熊本地震の救援物資の集積場になりました

この度の地震で被害を受けた皆様にお見舞いを申し上げます。

4月14日(木)の前震、16日(土)の本震により、本校も校舎や体育館、機械設備などに大きな被害を受けました。

その様な中で、本校は被災地への救援物資の集積場の一つとなり、本震の当日から遠くは東日本の自治体や様々な企業・団体等から救援物資が届けられ、とても心強く感じました。ありがとうございました。

教室や機械設備の点検や復旧と並行しての職員総出の救援物資の搬入・搬出でしたが、大型トラックの運転手の方の「頑張ってください」の言葉に元気をもらいました。

学校は5月9日(月)から授業を再開しました。現在も本部棟の玄関や体育館等が使用できない状況ですが、少しずつ地震前の状況を取り戻しつつあります。

一日も早く以前の姿に戻れるよう一致団結して取り組んでいきたいと思っております。



救援物資の積み込みの様子①



救援物資の積み込みの様子②

お問い合わせ先

(局名) 熊本県立技術短期大学校

(担当) 未永

(TEL) 096-232-9700

(E-mail) kpct@kumamoto-pct.ac.jp

[▲目次へもどる](#)

●熊本県立高等技術専門校のオープンキャンパス参加者募集！

熊本県立高等技術専門校では、高等学校や中学校等を卒業された方、軽度の知的障がいのある方、離転職者の方などを対象に就職のための専門知識や技能を身に付ける職業訓練を行っています。

高等学校や中学校を来春卒業予定の方などを対象としたオープンキャンパスを開催します。見学や体験実習などを予定しており、多数のご参加をお待ちしております。

1 期 日

第1回 平成28年8月3日(水曜日) 午前10時から12時まで
(受付は午前9時30分から)

第2回 平成28年8月7日(日曜日) 午前10時から12時まで
(受付は午前9時30分から) (販売実務科は開催しません)

2 場 所

熊本市南区幸田1丁目4番1号 高等技術専門校

3 内 容

(1) 各科の訓練内容などの説明

自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科、販売実務科

(2) 体験実習及び見学（昨年の風景）



自動車車体整備科（3年課程）



電気配管システム科(2年課程)



総合建築科（2年課程）



販売実務科（1年課程）

4 対象者

高校生以上（総合建築科、販売実務科は中学生も可）

※なお、先生、保護者、関係者の方なども参加できます。

5 申込締切日

第1回 7月29日（金曜日）

第2回 8月3日（水曜日）（販売実務科は開催しません）

6 申込方法

参加を希望される方は、必要事項（氏名、年齢、所属、連絡先、見学希望科、体験実習の参加の有無、参加希望日）を記載のうえ、ファックス、電話又はメールにて参加申込みをお願いします。

ファックス：096-378-0122 電話：096-378-0121

※詳しくは、「熊本県立高等技術専門校」のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

高等技術専門校 指導班

(担当) オープンキャンパス係 (垣下)

(TEL) 096-378-0121

(E-mail) kakishita-t@pref.kumamoto.lg.jp

[▲目次へもどる](#)

●熊本県立技術短期大学のオープンキャンパスを開催します！

熊本県立技術短期大学では、7月30日(土)と31日(日)に、オープンキャンパスを開催します。

本校は菊陽町のセミコンテクノパーク内にある、ものづくりを支える技術者を育てる2年制の学校です。実際に企業で使用されている機材を使った実践的な教育を行っており、開校以来ほぼ100%の就職率を達成し、その半数以上が県内に就職しています。

オープンキャンパスでは、教員と学生による各学科の紹介や研究内容の展示を行うほか、各学科で模擬授業を行います。本校の教員が行う特色ある授業を実際に体験していただくことができます。

そのほか学生に直接学校や学生生活について質問できる相談コーナーや、各種相談窓口も設置します。

当日はJR豊肥本線の原水駅から本校までシャトルバスを運行します。詳しい内容等は本校ホームページをご覧ください。

ものづくりに興味のある高校生の皆さん、そして先生や保護者の方、お気軽にお越しください。

記

日 時：平成28年7月30日(土)、31日(日) 13時～17時

場 所：熊本県立技術短期大学(菊陽町セミコンテクノパーク内)

菊池郡菊陽町大字原水4455-1

内 容：全体説明、施設見学(学生や教員による各学科の説明)、模擬授業、個別相談窓口

その他：・事前の申込みは不要です。

・当日はJR豊肥本線の原水駅から本校まで送迎を行います。12時～13時の間にJR原水駅に集合してください。

本校ホームページ：<http://www.kumamoto-pct.ac.jp/>



模擬授業の様子



学生相談コーナーの様子

お問い合わせ先

(局名) 熊本県立技術短期大学校 総務学生課

(担当) 末永、廣石

(TEL) 096-232-9700

(E-mail) kpct@kumamoto-pct.ac.jp

[▲目次へもどる](#)

《「くまもと夢づくりマガジン」にどしどしご提案ください！！》

「〇〇〇のような内容を追加して欲しい」「△△△の内容についてもっと知りたい」「□□のようにすると、もっとメルマガが良くなる」など、皆さまのご提案や記事に対する意見・感想がありましたら下記アドレスに、どしどしお寄せください。提案等は今後のメールマガジンの作成に反映させていきたいと考えています。

また、新規配信を希望される方も下記アドレスにメールアドレス、氏名、住所、電話番号を記載のうえ、お申し込みください。お待ちしております。

◆熊本県商工観光労働部メールマガジン「くまもと夢づくりマガジン」

発行元 熊本県商工観光労働部

住 所 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18-1

TEL 096-333-2313

E-MAIL shoukouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

[▲目次へもどる](#)
